19日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

#### @ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-255684

@Int. Cl. 4

S

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)10月12日

C 25 D 5/08 21/288 H 01 L

7325-4K -7738 - 5F

-6824-5F審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

半導体ウエハーの製造装置 会発明の名称

②特 顧 昭63-81494 22出 願 昭63(1988) 4月1日

個発 者 伊 藤 秀 雄 東京都港区芝 5 丁目33番 1 号 日本電気株式会社内

人 る出 顧

日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目33番1号

弁理士 内原 倒代 理

## 明

#### 発明の名称

半導体ウェハーの製造装置

## 特許請求の範囲

半導体ウェハー面を金メッキ処理する半導体ウ ェハーの製造装置において、前記半導体ウェハー の裏面を吸着してウェハー全体を回転させるカソ ード・チャックと、金メッキ液を前記半導体ウェ ハーの表面に流下せしめるアノード・ノズルと、 前記カソード・チャックおよびアノード・ノズル 間にメッキ用電圧を印加する電源装置とを備える ことを特徴とする半導体ウェハーの製造装置。

#### 発明の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

本発明は半導体ウェハー(以下ウェハーとい う)の製造装置、特にウェハーを金メッキ処理す る半導体ウェハーの製造装置に関する。

## 〔従来の技術〕

従来、この種の製造装置としては第4図および 第5図に示すごとき梢成の金メッキ装置が使用さ れている。すなわち、この金メッキ装置は、金メ ッキ処理植1内に設けられた噴水口2より流出さ れる金メッキ液をウェハー4の表面に接触させ、 カソード・チャック3とアノード板6とにメッキ 用電源装置5から電圧を印加して金メッキする樹 成をとるものである。ここで、7および8はそれ ぞれ真空ポンプおよび圧送ポンプを示している。

## (発明が解決しようとする課題)

しかしながら、上述した従来の金メッキ装置 は、第5図に示すようにウェハー4の表面を下に 向けてその下部より金メッキ液を接触させるの で、ウェハー裏面への液の回り込みによるメッキ 不良や吸着不良などが発生し、また、メッキ液内 に循環時に発生する気泡がウェハー表面に付着し てメッキ不良を起こす。特にウェハーが大口経化 すると、ウェハーの中心部と周辺部のメッキ厚の 均一性をコントロールするのは非常にむずかしい といった種々の問題点がある。

本発明の目的は、上記の問題点に鑑み、ウェハー裏面への金メッキ液の回り込みおよび気泡によるメッキ不良の発生を抑上し得る半導体ウェハーの製造装置を提供することである。

### (課題を解決するための手段)

本発明によれば、半導体ウェハー面を金メッキ処理する半導体ウェハーの製造装置は、前記半導体ウェハーの裏面を吸着してウェハー全体を前記半導体ウェハーの表面に流下せしめるアノード・ ノズルと、前記カソード・チャックおよびアノ ド・ノズル間にメッキ用電圧を印加する電源装置とを備えることを含んで構成される。

#### 〔 寒 施 例 〕

以下、図面を参照して本発明を詳細に説明する。

第1 図および第2 図はそれぞれ本発明装置の一 実施例を示すブロック構成図およびその要部拡大

でカソード・チャック3とアノード・ノズル10 との間にメッキ用電源装置5からメッキ用電圧が 印加され、金メッキ処理が行われる。

第3図は本発明製造装置の他の実施例を示すすドリック構成図である。本実施例によれば、ロー4は、カセット14より取出された半導体ソード・カ を 放送されかり、 放送ベルト16にて搬送されかの循環がバルバック3にセットされた後、メッキ洗用切換がブルンでは、メッキ処理終了後、水洗所切り、水水洗が開始される。メッキ処理をするり、水洗が開始される。水洗終では、カソード・チャック3をアンプ18a、18bが閉となり、水洗が開始さ高ンフェント15への乾燥を行な収納が高いでは、メッキ処理、水洗及び乾燥が自動で、火煙できる為合理化に資する効果は大である。

#### 〔発明の効果〕

以上詳細に説明したように、本発明によれば、ウェハーを回転状態にて上部よりメッキ液を流下させるため、メッキ液が遠心力で外側に飛散し、

本実施例によれば、第2図に示すように半導体ウェハー4の裏面はカソード・チャック3により 吸着され、モーター11の駆動により設定回転数 を以って回転される。このように半導体ウェハー 4を回転させつつアノード・ノズル10からメッ キ液がウェハー4の表面に流下される。この状態

#### 図面の簡単な説明

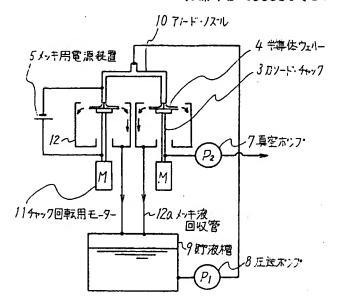
第1図および第2図はそれぞれ本発明装置の一実施例を示すプロック構成図およびその要部拡大図、第3図は本発明装置の他の実施例を示すプロック構成図、第4図および第5図はそれぞれ従来の半導体ウェハー金メッキ装置の概略を示すブロック図およびその要部拡大図である。

1 … メッキ処理槽、2 … 噴水口、3 … カソード・チャック、4 … 半導体ウェハー、5 … メッキ

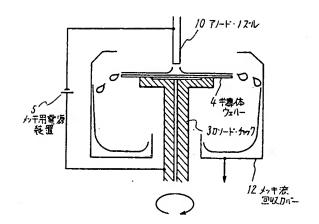
# 特開平1-255684(3)

用電源装置、6 ··· アノード板、7 ··· 真空ポンプ、8 ··· 圧送ポンプ、9 ··· 貯液槽、10 ··· アノード・ノズル、11 ··· チャック回転用モーター、12 ··· 回収カバー、12 a ··· 回収管、13 ··· チャック上下用シリンダー、14 ··· ロード・カセット、15 ··· アンロード・カセット、16 ··· ウェハー搬送ベルト、17 a · 17 b ··· 水洗用切換バルブ、18 a · 18 b ··· メッキ用切換バルブ。

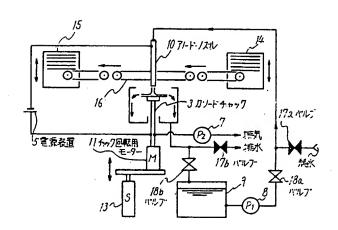
代理人 弁理士 内 原 晋



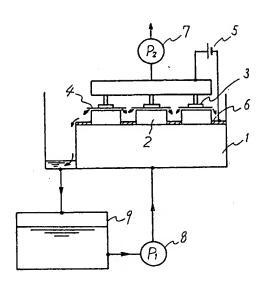
第 1 図



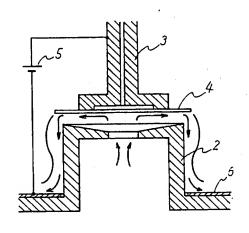
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 01255684 A

(43) Date of publication of application: 12.10.89

(51) Int. CI

C25D 5/08 H01L 21/288 H01L 21/92

(21) Application number: 63081494

(71) Applicant:

**NEC CORP** 

(22) Date of filing: 01.04.88

(72) Inventor:

ITO HIDEO

## (54) EQUIPMENT FOR PRODUCING SEMICONDUCTOR WAFER

#### (57) Abstract:

PURPOSE: To inhibit plating liquid from being turned to the rear of a wafer and to inhibit generation of foams by attracting the rear of the wafer with a cathodic chuck to rotate the wafer and providing the means for allowing gold plating liquid to flow down on the surface of the wafer through an anode nozzle.

CONSTITUTION: The rear of a semiconductor wafer 4 is attracted with a cathode chuck 3 and rotated at the preset times with a motor 11. Gold plating liquid is allowed to flow down on the surface of the wafer 4 through an anode nozzle 10 while rotating the wafer 4. In this state, gold plating treatment is performed by Impressing voltage for plating between the cathode chuck 3 and the anode nozzle 10 from a power source device 5 for plating. The plating liquid is scattered to the outside by the centrifugal force and plating liquid can be prevented from being turned to the rear of the wafer 4. Further foams stuck on the surface of the wafer 4 at a time of circulation of plating liquid can be removed.

### COPYRIGHT: (C)1989, JPO& Japio

